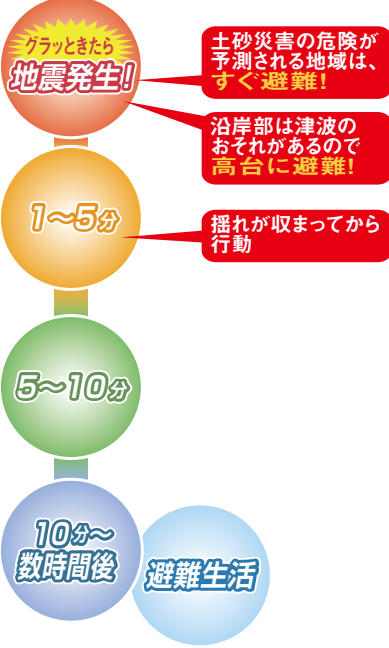


## 地震が起きたとき、とるべき行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確認することです。海岸付近で強い揺れを感じた場合は、すぐに津波が来襲することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに高台などに避難してください。



### 命を守る

- 「頭を保護する」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて自分の身を守る
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確認する

### 家族を守る

- 家族の安全を確認
- 火の元を確認・初期消火
- 足をケガしないように靴をはく
- 必需品を手元に用意する
- 余震に注意

### 地域を守る

- 隣近所の安全を確認
- ラジオなどで情報を確認
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する

### 助け合いの心で…

- 協力して消火・救出活動
- 水・食料は備蓄でまかなう
- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家には入らない
- 引き続き余震に注意
- 避難所では集団生活のルールを守る

### 緊急地震速報を見聞きしたら…周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確認しましょう!

地震による強い揺れを、揺れが始まる少し前にお知らせする「緊急地震速報」の提供が、平成19年10月から始まっています。「緊急地震速報」は、震度5弱以上の揺れが予測された地域名称などを報道機関や防災機関からみなさまに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



#### 家庭では…

- 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外へ飛び出さない。

#### 屋外では…

- ブロック塀などの倒壊に注意。
- 看板や割れたガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる。

#### 人が大勢いる施設では…

- 係員の指示に従う。
- 落ち着いて行動。
- あわてて出口に走り出さない。

#### 自動車運転中は…

- あわててブレーキをかけない。
- ハザードランプを点灯し、揺れを感じたら路肩に寄せてゆっくり停止。

#### 山やかけ付近では…

- 落石やかけ崩れに注意。

#### エレベーターでは…

- 全ての階のボタンを押して、停止した階で、すぐにおりる。

### 自動体外式除細動器(AED)による早期除細動



使用方法: 音声メッセージに従って対象者に電極パッドを貼り付けると、機器が心電図波形を自動的に解析し、電気的除細動が必要かどうかを判断・表示し、必要な場合に限り使用者がボタンを押すことで通電されます。なお、6歳ぐらまでの乳児に対しては、小児用電極パッドを使用しますが、なければ成人用の電極パッドで代用します。

## 大雨・洪水に関する注意報・警報について

次のような場合に、大阪管区気象台から「注意報」「警報」「特別警報」が発表されます。

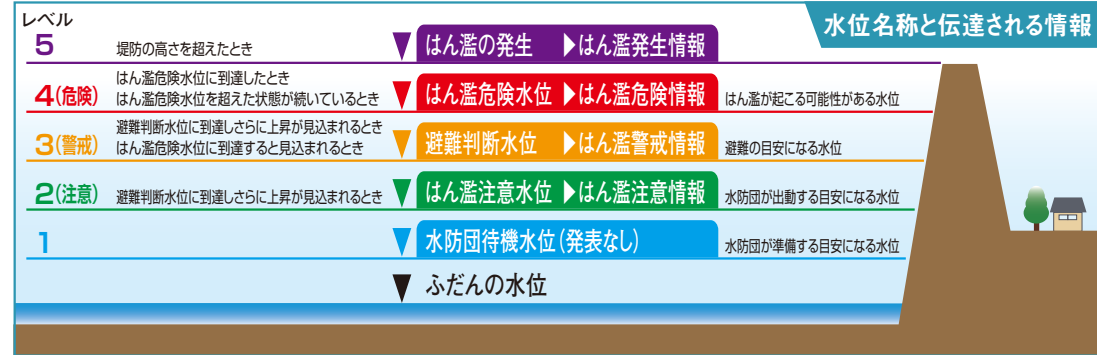
大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	「警報」よりもはるかに高い危険度
<b>大雨</b> 大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあるとき注意を呼びかける予報	<b>大雨</b> 大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表	<b>大雨</b> 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表
<b>洪水</b> 大雨、長雨などにより、河川の増水やはん濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあるとき注意を呼びかける予報	<b>洪水</b> 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水やはん濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表	

### 「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります。

- このほか、数年に一度の猛烈な雨が観測された場合には、気象台から、「記録的短時間大雨情報」が発表されます。この情報が発表された地域では、近くで災害の発生につながる事態が生じていることを意味しています。
- 大雨などのときには、テレビやラジオなどで最新の注意報・警報・特別警報の発表状況を確認するようにしましょう。
- 気象庁の天気予報電話サービス「177」(携帯電話・スマホからは市外局番に続けて「177」)や、気象庁ウェブサイト(<https://www.jma.go.jp/>)でも確認できます。※羽曳野市に注意報・警報が発表される際の雨量基準値などについては、気象庁ウェブサイトで知ることができます。

## 河川のはん濫発生情報

大和川や石川の水位が増え、洪水のおそれがあるとき、大阪府から羽曳野市に通知され、報道機関などを通じて一般に周知されます。はん濫に関する情報は危険に応じて、水位名称と合わせて伝達されます。



## 内水はん濫と外水はん濫

洪水には、降った雨が水路や下水道などで排水しきれなくなるにより起こるはん濫(内水はん濫)と、川の堤防が壊れたり堤防から水が溢れたりして発生するはん濫(外水はん濫)があります。まずは、洪水の発生する仕組みを理解して、避難所まで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。

### 内水はん濫



水路や下水道の排水能力を超える大雨が降ったり、河川の水位上昇により十分に排水できなくなると、雨水が溢れ、住宅地や道路などが冠水します。

### 外水はん濫



長時間雨が激しく降ると、河川の増水により堤防が壊れたり、堤防から水が溢れ出して浸水します。

## 自分で行う災害への備え

### 家の外の備え

大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する

## 自分で行う災害への備え

### 家の中の備え

- 非常用品の確認  
懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コンロ、貴重品など
- 室内からの安全対策  
飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく
- 水の確保  
断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する